

第5回定例会一般質問項目

平成24年12月10日（月）

午前9：00～

質問 順番	議員名	項 目
1	江崎 達己 (一括方式)	<p>1 LED電球の導入及び推進について</p> <p>(1) 平成22年9月議会にてLED電球の導入について質問しましたが、その後の導入状況はどうか。</p> <p>(2) 照明用の電気使用料が高額となる体育館や野外スポーツ施設にLED電球の導入はどうか。</p> <p>2 真正地域における集落排水事業による配管敷設後の道路舗装について</p> <p>(1) 道路舗装の計画等は。</p> <p>(2) 早期に計画的に道路舗装を施工されたいがどうか。</p> <p>3 西濃環境整備組合の事業運営について</p> <p>(1) 熔融スラグ入りコンクリート二次製品（日本工業規格適合）の利活用をもっと図ってはどうか。</p> <p>(2) 西濃環境整備組合の構成市町（3市7町）での利活用の状況並びに本市の状況は。</p> <p>(3) 本市では過去3年間程、熔融スラグ入りコンクリート二次製品を活用されていないのはなぜか。活用に対する問題点があるのかどうか。</p> <p>(4) 今後の方針は。</p>
2	鏑本 規之 (一問一答)	<p>1 今年度で切れる樽見鉄道の支援について</p> <p>(1) 今後も支援を継続するのか。</p> <p>(2) 経営者の交代等を考えているのか。</p> <p>(3) 行政として人を送る考えがあるのか。</p> <p>2 長屋地区にある多目的広場の野球場の使用が、6月から8月の間、夜の利用が禁止されている件について</p> <p>(1) 現状について</p> <p>(2) 当然、光公害の問題が出ることは予想されていたはずですが、隣接する地権者の方々に説明をされたのか。</p> <p>(3) 今後の措置はどのようにされるのか。</p> <p>(4) 責任があるとすれば、責任はどこにあるのか。</p> <p>(5) 誰がその責任をとるのか。</p> <p>3 私が長年、問題としてきた長屋区の土地を含め、市名義の土地の使用料について</p> <p>(1) 市名義の土地を市民が使用する場合、市は使用する市民に使用料を請求しないのは違法である旨の判決が名古屋高等裁判所から出されましたが、この判決についての市長の考えと思いは。</p> <p>(2) こうなった原因はどこにあったのか。</p> <p>(3) 責任は誰にあるのか。</p> <p>(4) その責任はだれが負うのか。</p> <p>(5) 法的には時効が成立している現多目的広場の駐車場の土地について、30数年にわたり使用料の請求がなされていなかったが、この土地の問題は、議員、議会にも大きな責任があると思うが市長の思いは。</p> <p>(6) こうなった原因はどこにあったのか。</p> <p>(7) 責任は誰にあるのか。</p> <p>(8) その責任はだれが負うのか。</p> <p>(9) 今後、市の名義の土地についてどのように扱うのか。</p>

質問 順番	議員名	項 目
3	黒田 芳弘 (一問一答)	<p>1 教育委員会の在り方について</p> <p>(1) 大津市のいじめ問題では、教育委員会の在り方が問われている中、教育委員候補者選定に至るまでの流れは。</p> <p>(2) 教育委員会の内容や開催頻度、その役割は。</p> <p>(3) 外観的にも、教育委員会は保護者との中立に立って、判断できる姿が望ましいと考えるがどうか。</p> <p>2 野生動物との自動車事故対策について</p> <p>(1) 本市北部地域で野生動物と自動車の衝突事故が多発しているが、近年の傾向や事故による被害をどう把握しているのか。</p> <p>(2) 今のままの状況では、今後、人命にかかわるような大事故も想定され、早急な対策が必要と考えるがどうか。</p> <p>3 中国との友好交流事業の是非について</p> <p>(1) 尖閣諸島問題が影響する昨今の状況を見ると、事業継続に疑問があると考えますが、友好交流事業の目的や経緯と現在の交流内容の詳細は。</p> <p>(2) 友好交流事業の効果をどう検証するのか。</p> <p>(3) 現在の日中間の状況下においても、この事業は今後も継続するのか。</p> <p>4 今後の市政方針について</p> <p>(1) 今回の衆議院総選挙の争点となっている、脱原発、消費増税、TPP、社会保障と税の一体改革、経済対策について、市長の考えは。</p> <p>(2) 現在の社会情勢に対処すべき、来年度予算編成についての留意点や重点施策など、市長としての方針は。</p>
4	船渡 洋子 (一問一答)	<p>1 子ども・子育て関連3法について</p> <p>(1) 地方版子ども子育て会議の設置は。</p> <p>(2) 子ども子育て支援事業計画を策定するための準備組織の設置が必要と思うがどうか。</p> <p>(3) 本巢保育園と糸貫西幼稚園が新しく建設となりますが、施設が新しくなると同時に体制に変化はありますか。</p> <p>2 「いのちの大切さ」を考える機会をもつ、心肺蘇生の授業を中学生に取り入れることについて</p>
5	高橋 勝美 (一問一答)	<p>1 太陽光発電システム及び小水力発電について</p> <p>(1) 住宅用太陽光発電システム設置整備事業補助金の申請状況と交付の状況はどうか。</p> <p>(2) 本巢中学校、土貴野小学校、真桑小学校に設置してある太陽光発電システムの発電量は。(推定発電量、積算発電量、推定発電量比の観測結果は)また、地球環境への貢献度として、その発電量は、石油などの化石燃料に換算した場合の削減量及び二酸化炭素排出削減量はどれくらいか。</p> <p>(3) 市の建物を太陽光発電向けに屋根貸出しはどうか。</p> <p>(4) 流れる水で地域を輝かせる淡墨公園内の小水力発電機設置事業の進捗状況は。</p>
6	村瀬 明義 (一問一答)	<p>1 人・農地プランについて</p> <p>(1) 人・農地プランの今までの施策に基づいて進めてこられた経緯、今後の方針について</p> <p>(2) 担い手(新規就農)の育成の考えは。</p> <p>2 本巢市ブランドマークの認証について</p> <p>ブランド認証マークの許可の経過はどのように進めているのか。</p>

質問 順番	議員名	項 目
1	若原 敏郎 (一問一答)	1 地域主権改革の流れと本巢市の対応について (1) 義務付け・枠付けの見直し、基礎自治体への権限移譲は。 (2) 今後の補助金等の一括交付金化は。 (3) 国と地方の協議の場に関することについて 2 根尾川の堤防の安全性について (1) 浸水・越水による安全性は確認されているか。 (2) 堤外地に土砂が堆積しても、堤防の嵩上げはされていないがどうか。 3 小・中学生の携帯電話・スマートフォンの所持について (1) 学校への持ち込みは許可されているのか。 (2) 学校・教育委員会はどこまで関与・指導しているのか。
2	上谷 政明 (一問一答)	1 本巢消防本部周辺の交通網について 市の道路計画によると、本巢消防本部から北へ出る道路(市道4092号線)の拡幅計画があったが、その進捗状況と今後の対応について 2 本市の普通交付税合併算定替について (1) 11ヶ年度以降の減少額が19億円程度と聞いているが、その減少額への対応について (2) 適用期間が過ぎる15ヶ年度以降の交付税の額について
3	大西徳三郎 (一問一答)	1 来年度の予算編成について 市長のモットー「もっと元気で笑顔あふれる本巢市をつくります」の基、経済対策を含めた積極的な予算編成を望みますが、市長の考えは。 2 本巢市道路網整備計画について 屋井工業団地の早期完売、また、周辺地域の発展のためにも、道路網整備計画に基づき、岐阜関ヶ原線から南北の道路、市道1007号線、1069号線、2016号線、県道田ノ上屋井線、等々の早期整備が必要と思うがどう考えているのか。
4	鵜飼 静雄 (一問一答)	1 船来山・富有柿の里の現状と課題について (1) 富有柿の里がホームページでも紹介されていますが、現状は必ずしもそうなっていないし、整備も不十分です。市の考え・対応は。 (2) 船来山は、かつては子どもたちが登り遊んだ里山であり、シンボリック的存在でした。ゴルフ場開発の問題が出てから様相は一変し現在に至っています。しかし、この山を荒れるに任せておいていいのか、疑問です。現状と今後について、市としてどのように考えているのか。 2 生涯学習施設ながみねの方針について 昨年度、解体撤去の予算が計上されながら、事業実施は見送られました。その理由、この間の対応・取り組み、今後の方針について 3 保育料等の見直しについて 行財政改革大綱実施計画で、保育料の値上げが示されていました。実際には今年度は見送られましたが、今の社会・経済状況から考えて、今以上の負担増は避けるべきと考えるが、今後の市の方針は。 4 いじめ問題に関連して (1) いじめ問題を考えるとき、今改めて「子どもの権利条約」を教育の現場に、地域社会に定着させる努力が必要だと考えます。教育長の考えは。 (2) いじめ防止条例(あるいはそれに代わるもの)についての考えは。